

「自然広場から： 近隣の自然の変化に目を向ける No.22

猛暑、昆虫たちが待ってた時！ Summer, time insects have been waiting

2020年8月16日

連日 35℃を超える猛暑が続いている。コロナ危機の高まりの中、熱中症にも要注意の日々にある。しかし、昆虫たちは、長い梅雨が過ぎるのをじっと耐え、8/1からの猛暑を歓迎、今を謳歌している。芦花公園内の自然の変化を見ていて気づかされた。

最初の気づきは、**セミの羽化**。例年は、7月下旬になると次々に木々に羽化の最中の姿や、すでに終えた抜け殻が増えて行ったのだが、今年は、雨続きで地面から出てくることができずにいた。そのためか下草の間で羽化していたのを見てビックリ！可哀想に思ったが、梅雨明けと同時に次々と樹木の上で羽化し、**アブラゼミ**だけでなく**ミンミンゼミ**も元気に鳴き出した。ハリエンジュ(ニセアカシア)の木を好んで羽化するのは例年と同じであった。Why?

いろいろな蝶も樹液を求めて飛来していた。瑠璃色の縞が美しい蝶、羽の一部が紫色の蝶を初めて見る事ができた。**2匹のスズメ蛾**と出遭い、“衣装”のセンスの良さには驚き、蛾のイメージが変わった。樹液に**スズメバチ**が3匹止まっていたのを見て、思わず身を引いた。刺されたら死ぬ恐れがあるからだ。地面のオオバコの花には**ミツバチ**が何匹も飛び交っていた。1ヶ月前にラベンダーに多く飛来していたのを見て以来の事だ。**コガネムシ**と**カナブン**は子どもの頃から馴染みの虫だが、なぜか見るとうれしくなる。

今回、**名称不明の虫**に**2匹**出遭った。青い羽のハエか蜂と青白い尻の地蜂のような虫。どなたか虫の名を教えてください。歩いていて、憎い**蚊**が腕に止まったので、カッと息を掛け手団扇したところ気絶した(喝(カ)采(カ)想物語)。

日照りの空を見上げたら、**赤トンボ**がスイスイ飛んでいた。すでに8月半ば、秋が近い、と想う。

暑さの中、どうぞお気をつけて！

http://sengawacx.com/LookNatureNo22_2020.jpg